

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2020年9月11日

～データを活用した新たなサービスにより、安心・安全な社会の実現に貢献～ **「RisTech」を新たなデータサービス事業として開始**

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之）は、2021年度から「RisTech（リステック）※」を新たなデータサービス事業として開始します。

当社は、2019年5月より、アクセンチュア株式会社（社長：江川 昌史、以下「アクセンチュア」）と企業の課題解決を図るサービス「RisTech」を提供してきましたが、2020年5月の改正保険業法の施行に伴い、今般、「RisTech」のサービス対象範囲を拡大し、社会課題を解決する新たな事業として展開します。これまでの企業課題の解決を通じて培ったノウハウを活かして、社会課題の解決に資するサービスとして「RisTech」のさらなる強化を図ります。

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大による社会環境の変化や多発する自然災害の被害など、社会が抱える課題を解決し、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

※「Risk」と「Technology」を掛け合わせた造語です。リスクに関する知見や業界知識・最新技術のノウハウをもとにビッグデータ分析を活用し、企業の課題解決を図るサービスです。

1. 背景

当社は、保険契約の引受により保有する契約や事故のデータに加え、取引先企業から提供されたデータを含むさまざまな統計データを掛け合わせ、企業の抱える課題を解決する「RisTech」を通じて、各業界の課題やデータ分析手法、先進技術等、社会課題の解決につながるノウハウや知見を蓄積してきました。今般の改正保険業法の施行により、お客さまの利便性向上に資するデータを活用した事業が可能となったため、従来の企業課題の解決に留まらず、業界全体や社会の課題解決にも貢献できるよう、さまざまなデータを活用した付加価値の高いサービスを新たなデータサービス事業として展開します。

2. 検討中のサービス概要

<p>スマート モビリティ取組</p>		<p>デジタルタコグラフのトップメーカーである矢崎総業株式会社（社長：矢崎 信二）とともにデジタルタコグラフが蓄積する自動車データ（加減速、運転時間等）と当社の自動車事故データを掛け合わせて分析し、事故発生予測モデルを構築します。このモデルを活用した運転リスク診断や運転アラートなど各種安全運転サービスを通じ、交通事故ゼロの安全な社会を実現します。</p>
<p>スマートシティ 取組</p>		<p>当社の過去の自然災害による保険金支払データと人流データや気象データを活用し、水災被害予測を迅速に実施、人的被害を最小限に抑えます。 また、災害発生時に「密」を回避した避難を実現するために人流データやAIカメラによる画像データにより避難所の密状態を把握、避難住民の安全を確保します。</p>
<p>気候変動リスク 対策</p>		<p>当社の過去の自然災害による保険金支払データや気象データ、アクセンチュアの知見をもとに、気候変動による災害発生予測モデルを構築し、サプライチェーンも含めた企業への影響を分析します。</p>

以上